



# 日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 159

平成21年11月26日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

耳鼻科の文言 削除される見通し 日耳鼻医学会 行政刷新会議に申し入れ  
「耳鼻科、皮膚科、整形外科、眼科の点数を下げ、産婦人科、小児科、救急医療の点数を上げるべき」  
行政刷新会議「事業仕分け」での結論に対し

11月11日、独立行政法人国立印刷局市ヶ谷センターで行われた、行政刷新会議「事業仕分け」第2ワーキンググループ(WG)事業番号2-4 診療報酬の配分(勤務医対策等)で耳鼻科などは利益率が他科より高いので点数を下げるべきとの取りまとめを出した。内容(抜粋)は以下のとおり

現在の医療課題は、複合的な要因により起きている。国民が安心して暮らせる社会をつくるために、法制度等と合わせて、診療報酬の見直しにより、国民負担を増やさずに改善できるのであれば、十分に検討すべき。  
整形外科、眼科、耳鼻科、皮膚科の点数を下げ、産婦人科、小児科、救急医療の点数を上げるべき。開業医の点数を下げ、勤務医に合わせて欲しい。  
再診料、特定疾患療養管理料の診療所優遇を廃止すべき。

### 【とりまとめコメント】

全員の意見が一致したため、「見直しを行う」を結論とする。見直しの例として、「収入が高い診療科の見直し」「開業医・勤務医の平準化」は、評価者の圧倒的な支持があったため、第2WGの結論とする。  
また、「公務員人件費・デフレの反映」についても、約半数の支持があったため、今後、厚生労働省において、考慮してもらいたい。その他の見直しについては、勤務医・開業医の配分、診療科ごとの配分がフェアなのか、適正なのかを検討する必要があり、そのための調査が必要である。客観的な情報・データをそろえ、患者、納税者、保険料負担者のすべて納得できるような議論を行うことは、厚生労働省の責務である。

日耳鼻医学会は耳鼻科の診療報酬が高いと認定されたことに強い疑問を持ち、財務省が当日ワーキンググループに提出した資料を取り寄せたところ、その中の医療経済実態調査報告(平成21年6月実施)での耳鼻科医の収入(右表)と出された結論が大きく乖離していることから、直ちに行政刷新会議に抗議し、速やかな訂正を求めた。その結果、耳鼻科の診療報酬が高いという点については誤りと認められ、コメントからも削除されることになった。今後事業仕分けの評価コメントのホームページからも「耳鼻科」の文言が削除される見通しである。

### 「耳鼻科の文言削除は当然だ」

日耳鼻医学会理事長 清水淑郎語る

かねてより低く抑えられ、薄利多売を強いられている耳鼻科の点数が、他科より収支差額が高いと誤認され、整形外科や眼科と同じように点数を削減されるという行政刷新会議のとりまとめはまさに晴天の霹靂でありました。これに対して当会役員諸氏が精力的に情報を収集、さらに行政刷新会議に客観的データと異なる点を指摘し、耳鼻科の文言が削除される見通しになったことは当然のこととはいえ、まずは一安心であります。

ただ、本来診療報酬点数は中医協等で時間をかけて慎重に審議されるべきものであり、今回のように単月の資料のみで、しかも短時間で点数を云々する仕分け作業のやり方は誠に遺憾であり、それには今もって厳重に抗議したい気持ちで一杯であります。来年4月の診療報酬改定に向けて、今後も情報収集を怠ることなく、問題があると思われる場合は迅速に対応して行きますので会員の先生方のご協力を改めてお願い申し上げます。

### 耳鼻科の1件当たり平均点数は737点

社会保険診療報酬支払基金・統計月報2009年7月診療分によると入院外では医療機関数 5,018、合計件数 2,245,522件、合計日数 4,163,408日、合計点数 1,655,268(千点)、1件当たり点数 737点、1件当たり日数は 1.9日であった。ちなみに1件当たり点数は、診療所計で 930点、最高は外科の1,177点、最低は皮膚科の 500点。

### 医療用漢方製剤を健康保険から除外か？

11月11日の行政刷新会議事業仕分け作業の結果、一般用薬類似医薬品(漢方、ビタミン、湿布薬)を保険給付から外すという財務省案にワーキンググループ15名のうち、11名が賛成。

仕分け作業が終わるのが11月下旬、12月上旬には仕分け作業結果の審議が行われ、そこで決定されると他の案件とともに執行される危険性が大として、日本東洋医学会(会長 寺澤捷年先生)は保険給付外しに断固として抗議する必要があるとして、署名活動を始めた。各方面からの協力をお願いしたいとしている。

(連絡先 日本東洋医学会 TEL 03-5733-5060 )

診療科名	収支差額
整形外科	約 4,200万円
眼科	3,100万円
その他	2,800万円
皮膚科	2,800万円
全体	2,500万円
産婦人科	2,500万円
内科	2,300万円
精神科	2,000万円
外科	1,900万円
耳鼻咽喉科	1,800万円
小児科	1,700万円

【「医療経済実態調査報告(平成21年6月実施)」】

収支差額=医師の給与

astellas  
経口用セフェム系製剤  
日本薬局方 セフジニルカプセル、セフジニル細粒  
CFDN セフゾン® 細粒小児用10%  
カプセル 50mg/100mg  
Cefzon®  
【効能・効果】「用法・用量】「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。  
製造販売 アステラス製薬株式会社  
東京都板橋区蓮根3-17-1  
[資料請求先] 本社/東京都中央区日本橋本町2-3-11